

いすの耐久性試験機

私たちの身の回りには、家庭、オフィス、学校、その他病院などの公共施設まで、さまざまないすやスツール（背もたれなどのないいす）が使われています。いすやスツールは、使用時に必要な機能および安全性の確保のため、JISなどで製品の強度試験方法が規格化されています。

本装置では、JIS S 1203:1998「家具—いす及びスツール—強度と耐久性の試験方法」に示された試験のうち、座面と背もたれの静的強度および耐久性試験を行うことが可能です。いすの開発・製造、輸入品の性能確認まで家具を扱う企業の皆さまのご利用をお待ちしています。

JIS S 1203:1998 に基づく試験区分

試験項目ごとに試験区分（1～5）があり、試験区分1が負荷荷重、負荷繰り返し数が最も小さく、試験区分5が最も大きい値となっています（表2）。試験区分の選択は、家具の用途を考慮して決定します。試験終了後に、試験体の破損、割れ、変形などの異常の有無を確認し、評価を行います。



表1 対応可能な試験

項目	対応項目
7.1	座面の静的強度試験
7.2	背もたれの静的強度試験
7.5	座面の耐久性試験
7.6	背もたれの耐久性試験

表2 JIS S 1203:1998 試験および試験区分要約

試験	単位期間	試験区分				
		1	2	3	4	5
座面の静的強度	力 (N) 10回	—	1,100	1,300	1,600	2,000
背もたれの静的強度	力 (N) 10回	—	410	560	760	760
座面の耐久性	サイクル (回) 加える力 950N	12,500	25,000	50,000	100,000	200,000
背もたれの耐久性	サイクル (回) 加える力 330N	12,500	25,000	50,000	100,000	200,000

活用事例

いすの強度および耐久性試験

1) 静的強度試験

いすを使用する際に発生する負荷の最高水準を想定し、いすとして必要な機能や強度を確認する試験です。座面、背もたれに対し、10回指定された負荷荷重を加えて試験を行います。

2) 耐久性試験

長期間の使用で一定荷重が繰り返し負荷する条件を想定し、いすの強度を確認する試験です。座面、背もたれに対し、12,500～200,000回の荷重を負荷して試験を行います。



矢印の方向に負荷を加えて試験を行う

SPEC & PRICE

仕様

最大荷重	2 kN
負荷機能	静的負荷および繰り返し負荷
負荷方向	圧縮 - 圧縮方向
ラムストローク	最大 300 mm
繰り返し負荷速度	毎分 40 サイクル以下

依頼試験料金表 (JIS S 1203 区分3の場合)

試験項目	(税込)	
	中小企業	一般
座面の静的強度試験	6,066 円	12,012 円
背もたれの静的強度試験	3,208 円	6,356 円
座面または背もたれの 耐久性試験	33,115 円	62,639 円
座面・背もたれの組合せ 耐久性試験	33,290 円	62,989 円

※ JIS S 1203 の 7.1、7.2、7.5、7.6 に対応
破壊試験には非対応

お問い合わせ：環境技術グループ〈本部〉 TEL 03-5530-2660